

憲法 いのち 社会保障 まもる



10・17

国民集会

パレードコース

銀座コース 14:30~16:30

出発 ▶西幸門交差点▶外堀通り
▶数寄屋橋交差点▶有楽町交差点
▶鍛冶橋交差点▶**解散**

- 着替え場所として「日比谷野外音楽堂」にテントを設置しています。
- 解散場所近くにも着替え場所を確保しています。

日比谷野外音楽堂までの交通のご案内

- 東京メトロ丸ノ内線▶「霞が関駅」B2出口より3分
- 東京メトロ日比谷線、千代田線▶「日比谷駅」A14 出口より3分
- 東京メトロ日比谷線▶「霞が関駅」A5出口より4分、C4出口より3分
- 東京メトロ千代田線▶「霞が関駅」C4出口より3分
- 都営地下鉄三田線▶「内幸町駅」A7出口より3分

東京千代田区日比谷公園 TEL:03-3591-6388

「憲法・いのち・社会保障まもる10・17国民集会」への賛同と参加を呼びかけます

「いつでも、どこでも、必要な時に、安全・安心の医療・介護が受けられる」ことは、国民の最も切実な願いであると同時に、憲法で保障された日本国民の権利です。

しかし、政府が6月に閣議決定した経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)では年金と介護は19年末までに改革案をまとめ、医療は20年度の骨太の方針に改革案を示しました。その実態は社会保障の切り捨てと自己責任の押し付けです。際限ない給付減と負担増を迫り、医療費の削減ありきでベッド削減をゴリ押しすれば、「入院患者の追い出し」や「入院難民」を増大させるのは必至です。

また、年金などの老後資金「2千万円不足」問題に端を発した老後不安、消費税増税、憲法などを争点にたたかわれた参議院選挙では、「改憲勢力」は非改選を含めた参議院全体で改憲発議のために必要な3分の2の議席を割り込みました。しかし、安倍首相は「改憲の議論を進めよという国民の声をいただいた」と述べ、あくまで改憲をめざす考えを強調し、野党への懐柔も示唆しました。

国民のいのちをまもり、健康的な暮らしに責任を持つ私たち医療・介護従事者は、いのちや人権を破壊する戦争には絶対反対です。

一人ひとりが人間として尊重され、健康に生き、働き、生活できる社会を実現するために、「憲法守れ」の声と共同を大きく広げなければなりません。

私たちは以下の7点を願って集会を開催することとし、多くの市民・団体にアピールし、政府に働きかけることにしました。皆様のご賛同・ご参加をこころから呼びかけます。

- ①国の責任で、いのちと人権が大切にされる社会保障の拡充
- ②医師、看護師、介護職員、保育士などの大幅増員・処遇改善
- ③患者・利用者の負担増ストップ!
- ④安全、安心の医療を保障する診療報酬の大幅引き上げを
- ⑤長時間労働なくし、安心して働き続けられる職場を
- ⑥医療・介護・福祉の充実で、安心して住み続けられる地域を
- ⑦憲法改悪反対! 戦争いやだ! 平和なくして医療・介護・福祉なし

19年「憲法・いのち・社会保障まもる10・17国民集会」実行委員会

